

# 可憐な小花の咲く丈夫な多年草。

< 植物名 >

マトリカリア

白

水やり

夏の高温と乾燥に弱いので、水はけのよい用土に植え、たっぷり水やりをする。

置き場所

日なたを好む。

用土肥料

培養土には堆肥を2割くらい混ぜる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

タネまき、挿し木

冬越し

耐寒性はあるが、小苗は霜よけの下で越冬させる。

使い方 切花、鉢植え、花壇

学名 *Tanacetum parthenium*

英名 feverfew

属名 タナケツム

科名 キク

性状(分類) 1年草または多年草

原産地 南アフリカ、地中海沿岸、アジア

花の色 白

開花期 5～8月

購入時期

草丈 20～80 cm

ID 196

季節 春 夏

JFコード 14415



冬越しと置き場所

日なたを好む。耐寒性はあるが、小苗は霜よけの下で越冬させる。

その他の解説

培養土には堆肥を2割くらい混ぜ、アブラムシがつきやすいので、殺虫剤で駆除するか、粒状の殺虫剤を土に置くなどの対策をする。

特徴1

南アフリカや地中海沿岸原産の、1年草または多年草。夏の高温と乾燥に弱いので、水はけのよい用土に植え、たっぷり水やりをする。

特徴2

いくつにも分かれた細い枝先に、マーガレットを小さくしたような可憐な小花を多数つける。一重咲き、八重咲き、アネモネ咲き、ボンボン咲きと、咲き方も多彩。欧州や北米では野生化しているほど、丈夫で繁殖力も旺盛。肥沃な土に植えさえすれば、特別なケアをしなくても大丈夫。ほとんどが、花壇や鉢植えに用いられるが、切花としても楽しめる。